

三重県内企業「社長年齢」分析調査（2024 年）

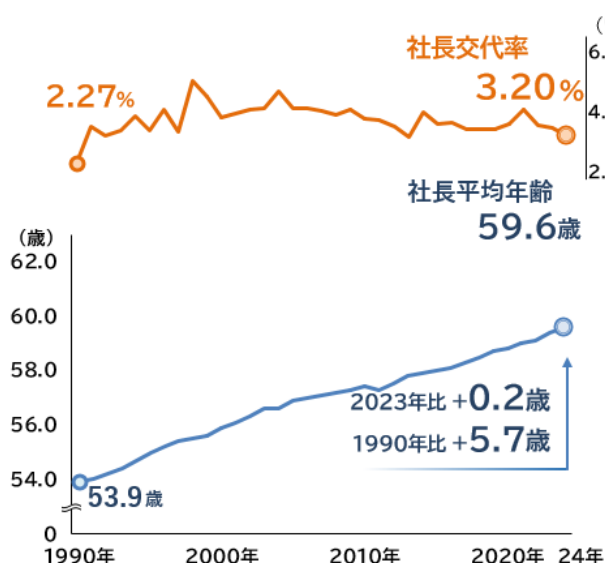
県内社長の平均年齢、59.6 歳 8 年連続全国で最も若い

～ 社長の交代率は 3.2%にとどまり、最高年齢を更新 ～

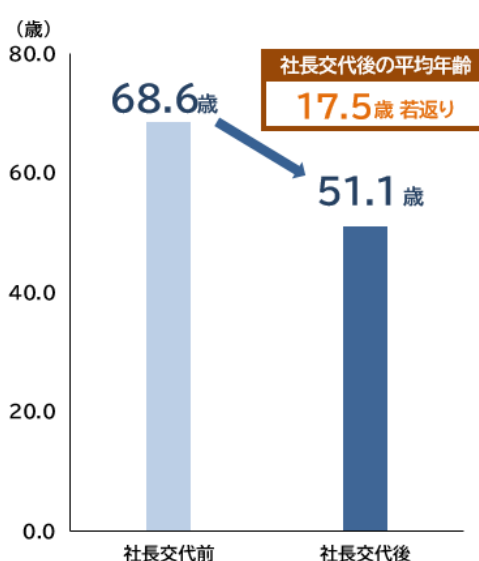
75 歳以上の後期高齢者が国民の 5 人に 1 人を占めるという「2025 年問題」が取りざたされる中、企業経営の現場においても事業承継の課題が一層深刻になるといわれている。

帝国データバンク四日市支店が実施した調査では、2024 年における三重県での後継者不在率は全国で最も低い 34.1%となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。

社長平均年齢/社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



調査結果（要旨）

- 2024 年時点の三重県内企業の社長平均年齢は 59.6 歳。前年を 0.2 歳上回り過去最高を更新
社長が交代した割合は 3.20%、前年から後退
- 「50 歳以上」の社長は 80.9%、「30 代以下」の若手経営者は 3.3%にとどまる
- 都道府県別、三重県の 59.6 歳が最も若い、一方トップは岩手県・秋田県の 62.6 歳

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 147 万社収録/三重県約 22000 社）から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した

社長の高齢化続く 59.6 歳と過去最高を更新 社長交代率も未だ低水準

三重県の社長平均年齢について、2024 年は前年から 0.2 歳上昇し 59.6 歳となり 2012 年より 13 年連続での上昇となった。なお、全国では前年比 0.2 歳上昇の 60.7 歳となり、こちらは統計として遡れる 1990 年から毎年上昇し続け 34 年連続となった。

また、社長交代率について三重県は前年 0.22 ポイント低下の 3.20%にとどまり、全国平均の 3.75%を下回った。社長交代率の低迷は、社長の世代交代が鈍化することにつながり、社長の高齢化が進行している証左といえる。

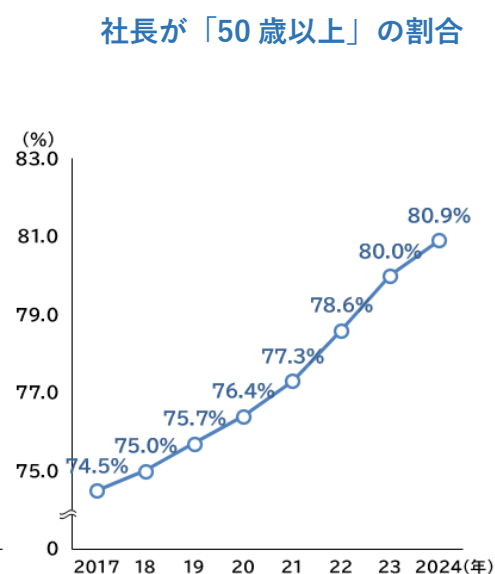
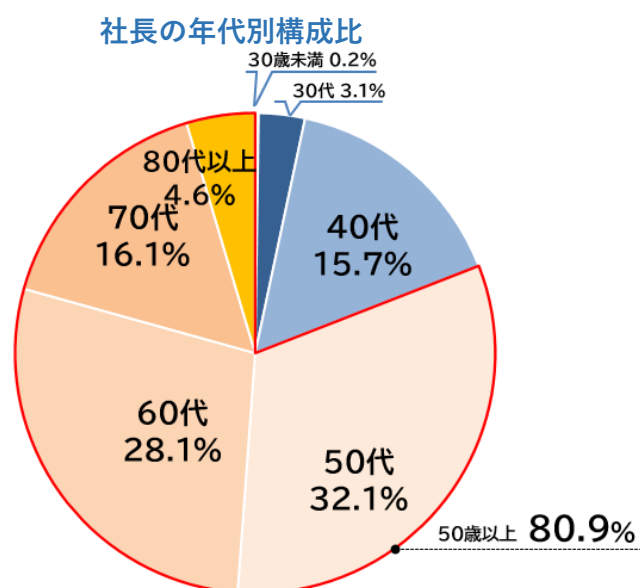
社長が交代する際の年齢は平均で 68.6 歳となり、前回調査 (68.5 歳) から 0.1 歳上昇した。社長が高齢で経営を続けることにはリスクがともなうが、70 歳近くで後継者にバトンタッチをしている実情がうかがえた。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は 51.1 歳となり、17.5 歳の若返りがみられた。

<年代別構成比> 「50 歳以上」の社長は 80.9%と高水準、若手経営者はわずかにとどまる

2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 80.9%となり全体の 8 割を占める結果となった。2024 年はいわゆる「団塊ジュニア」世代の多くが 50 歳を超える時期になり、前年に続き 8 割を超えた。

一方、「30 代」は 3.3%、「30 歳未満」はわずか 0.2%に過ぎず、合わせても 3%台にとどまった。

近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、依然として若手社長の割合は低い水準にとどまっている。



＜業種別＞ 「不動産」が 62.9 歳と高水準

社長平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 62.9 歳で最も高かった。不動産業の中でも「貸事務所」「貸家業」などのいわゆる不動産賃貸業では特に高年齢化が目立つ業種である。他方、独立起業や同族で世代交代する経営者が比較的多い建設業で 58.5 歳、同じく、農林水産や金融などを総合した「その他」も 58.5 歳で最も若かった。若手起業家が多い“IT 企業”や個人向け業種が分類される「サービス」は 58.6 歳で続き、県全体（59.6 歳）を下回った。

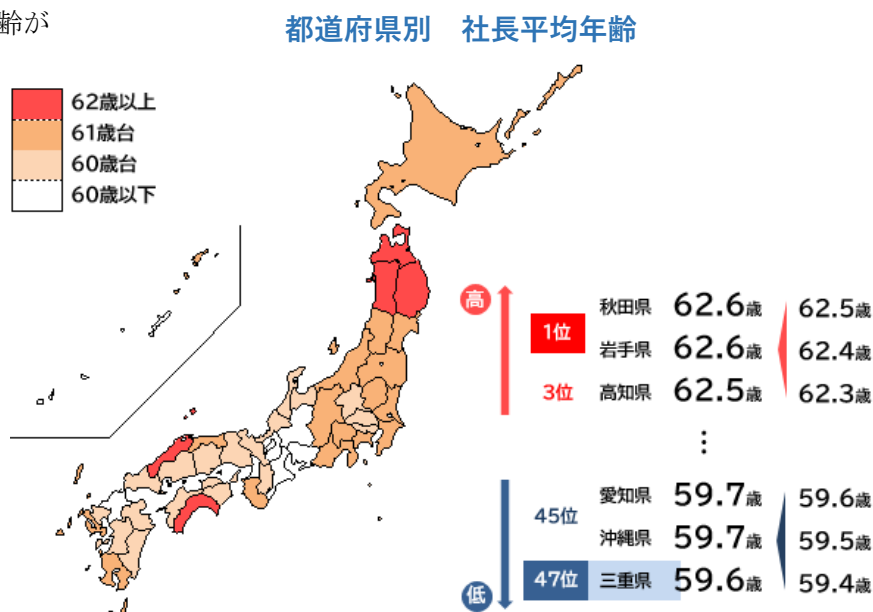
業種別 社長平均年齢（年推移）								
（年／歳）	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024 対95年比	
県全体	55.0	55.9	56.9	57.4	58.0	58.8	59.6	+4.6
建設	54.2	55.1	56.1	56.2	56.9	57.7	58.5	+4.3
製造	56.0	56.9	57.4	58.5	59.5	60.2	61.0	+5.0
卸売	55.3	56.1	57.5	58.6	58.6	59.7	60.3	+5.0
小売	54.3	55.8	57.0	57.9	58.1	58.8	59.9	+5.6
運輸・通信	54.9	55.4	56.1	56.3	57.5	59.0	59.6	+4.7
サービス	53.9	55.4	56.5	56.6	56.8	57.7	58.6	+4.7
不動産	56.3	58.1	59.4	60.3	61.1	62.1	62.9	+6.6
その他	58.0	58.6	57.4	58.1	57.3	58.0	58.5	+0.5

＜都道府県別＞ 秋田県と岩手県が 62.6 歳でトップ 三重県が 8 年連続で最も若い

都道府県別でみると、社長平均年齢が最も若かったのは三重県で 59.6 歳（8 年連続）。三重県は 2024 年時点の後継者不在率が 34.1%*と全国で最も低い点も含め、円滑な事業承継の結果が表れているといえる。一方で、前年から 0.2 歳上昇しており 60 歳に近づきつつある。

他方、社長年齢が最も高かったのは、秋田県（2023 年比+0.1 歳）と岩手県（同+0.2 歳）が 62.6 歳で最も高かった。岩手県は、5 年ぶりのトップ。次いで、高知県（62.5 歳、同+0.2 歳）、青森県（62.3 歳、同+0.1 歳）が続いた。とりわけ、東北地方の 6 県がすべて全国平均（60.7 歳）を上回り、社長の高齢化が顕著である。

なお、47 都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下したのは、熊本県（60.1 歳、同-0.1 歳）と大分県（60.3 歳、同-0.1 歳）の 2 県のみだった。また、同横ばいは 3 県だった。

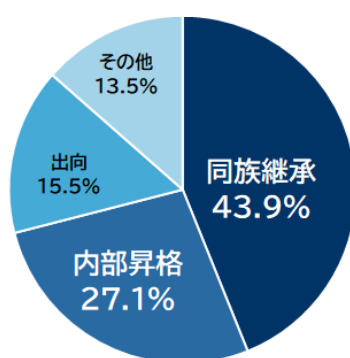


* 帝国データバンク四日市支店『三重県内企業「後継者不在率」動向調査(2024 年)』2024 年 11 月 28 日発表

＜就任経緯別＞「同族継承」が 43.9%でトップ

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族継承」が 43.9%で最も高く、「内部昇格」が 27.1%で続いた。「出向」は 15.5%だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族継承」が交代前の平均年齢では 71.1 歳で最も高く、「内部昇格」が 61.0 歳で最も低かった。交代後では「出向」が 61.6 歳で最も高く、「同族継承」が 48.7 歳で最も低かった。交代前と交代後の年齢差でみると、「同族継承」が 22.4 歳で最も開きが大きく、若返りが大幅に進んでいる。



就任経緯別 交代前後の社長年齢 (歳)

就任経緯	平均年齢		年齢差
	交代前	交代後	
同族継承	71.1	48.7	22.4
内部昇格	61.0	53.6	7.4
出向	66.8	61.6	5.2
その他	63.7	54.9	8.8
全体	68.6	51.1	17.5

※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

今後の見通し：高まる「社長の高齢リスク」、事業承継への早期着手が焦点

三重県内企業の社長平均年齢は都道府県別では最も若い結果ながら、上昇傾向が続いており過去最高を更新した。2024 年の社長交代では 17.5 歳の若返りがみられたものの、交代率は 3.20%と低位にとどまっている。このまま社長交代率が改善しなければ、社長平均年齢はさらに上昇しそうだ。

こうした結果を踏まえ、社長の「高齢リスク」にはさらなる警戒が必要だ。参考までに、全国で「経営者の病気・死亡」による倒産が増加している。

2024 年には 316 件判明し、過去最多の件数を記録した。社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向けた周到な準備が求められる。

参考)「経営者の社長・病気」を主因とする倒産の件数 (全国数値)



資料のお問い合わせ先

株式会社帝国データバンク 四日市支店

担当：服部 TEL 059-353-3411 FAX 059-353-4109

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。